

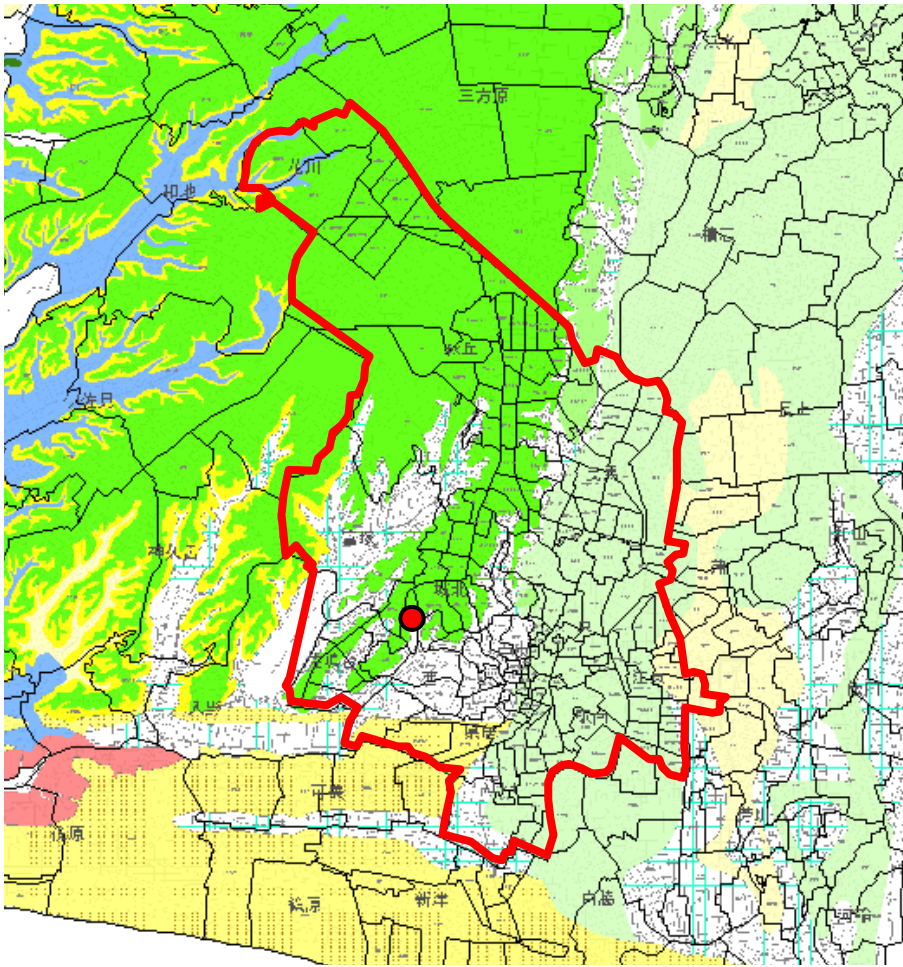
# 1. 中区の自然条件

		特 徴
気象	気温	・年平均気温は 15.7℃と県内でも気温が高く、冬季は季節風により乾燥し晴天日が多いため、日照時間が 2,633 時間と県内最長となっています。
	降雨量	・年平均降水量は、2,153mm と県平均よりやや少なくなっています。
	風向・風力	・西からの風が強く、年平均風速は 3.3m/S にも達します。
地形		・三方原台地と周辺の崖や丘陵地からなります。
地質		<ul style="list-style-type: none"> <li>・北部には秩父帯の片岩や砂岩が分布し、三方原台地は砂礫層、天竜川沖積地、海岸平野は砂礫層、泥層、砂層から構成されます。</li> <li>・三方原礫層は褐色砂礫層とシルトを主とする東鴨江累層の表面を覆います。</li> <li>・高町周辺は洪積台地の高位面にあたり三方原地面より 10m 程度高く、鴨江台地と呼ばれ風化の進んだもろい礫層で構成されています。</li> </ul>

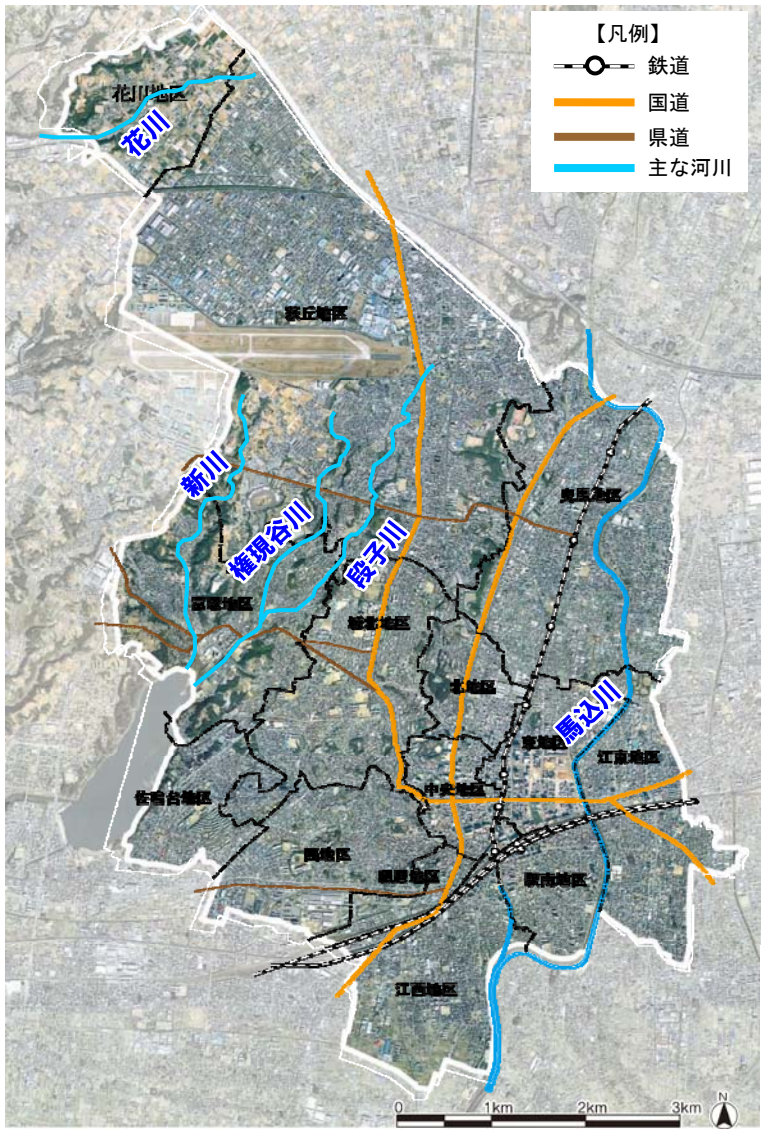
※洪積台地：更新世の堆積物から成る台地のことであり、三角州・扇状地・海岸平野などが隆起したもの。本市の三方原（みかたはら）台地も洪積台地にあたる

※沖積地：沖積世に堆積した地層で成り、地盤が軟弱で地震による液状化が比較的発生しやすい

- 沖積世 埋立地
- 沖積世 泥質地盤
- 沖積世 砂泥質地盤
- 沖積世 泥砂礫質地盤
- 沖積世 砂質地盤
- 沖積世 礫～砂礫質地盤
- 洪積世 低位段丘堆積物(礫層)
- 洪積世 中位段丘堆積物(礫層)
- 洪積世 中・高位段丘泥質堆積物
- 洪積世 高位段丘堆積物(礫層)
- 洪積世 最下部洪積層



中区の地質（資料：浜松防災マップ、第三次被災想定 表層地質図）



中区の主な河川

### ■地震に対する地盤の性質

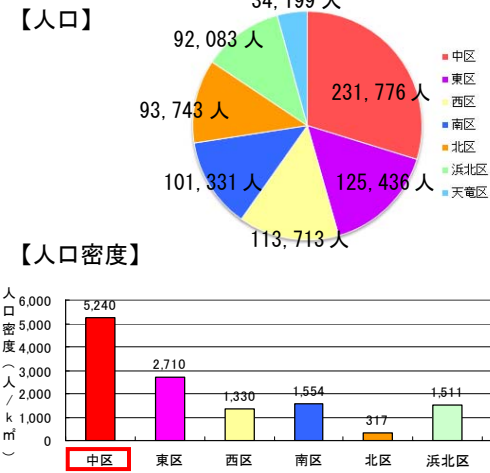
- 【沖積世 泥質地盤】 
  - ・地下水位の高く緩い所では液状化現象が発生する恐れがある。
- 【沖積世 泥砂礫質地盤】 
  - ・軟弱な地盤の所が多い。
- 【沖積世 砂質地盤】 
  - ・比較的強い地盤だが、地下水位の高く緩い所では、液状化現象が発生する恐れがある。
- 【沖積世 礫～砂礫質地盤】 
  - ・比較的強い地盤である。
- 【洪積世 低位段丘堆積物(礫層)／中位段丘堆積物(礫層)／中・高位段丘堆積物(礫層)】  
  - ・締まった地盤であり問題はないが、風化が進んだ部分では注意する必要がある。また、斜面崩壊の恐れがある。



## 2. 中区の社会環境

### ①人口・世帯

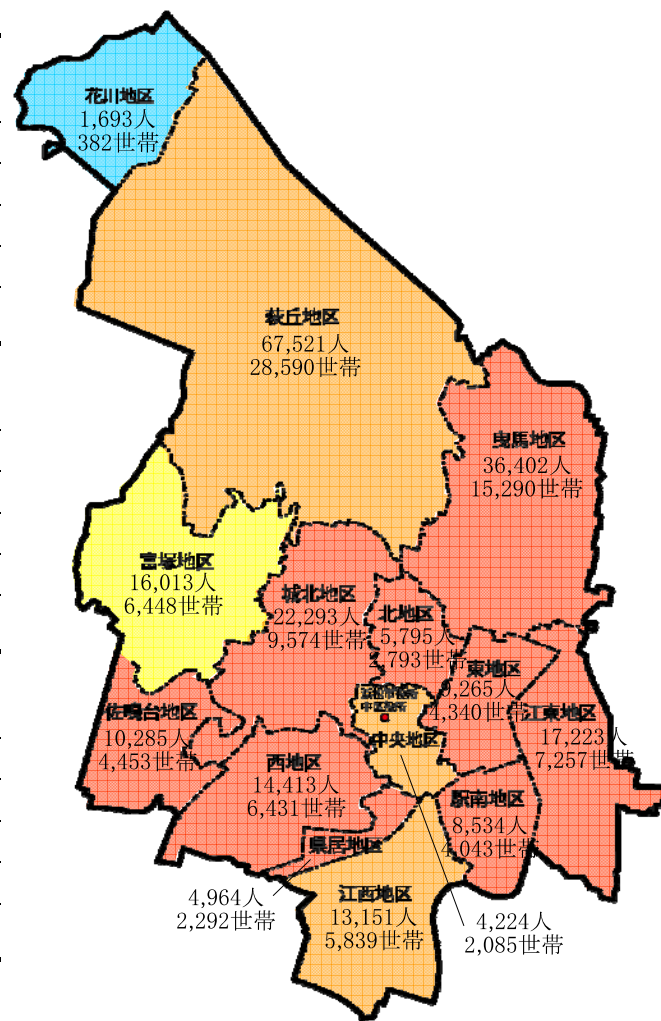
- ・中区は14の地区（中央、西、城北、北、東、駅南、県居、佐鳴台、富塚、萩丘、曳馬、江東、江西、花川）に区別され、人口約231,700人となっており本市の中では最も人口が多い区です。
- ・地区別の人口密度をみると、団地が立地している佐鳴台が最も多い他、城北、駅南地区といった浜松駅周辺の地区及び曳馬、江東地区で高くなっています。



■中区における地区別の人口・世帯数

		中央地区	西地区	城北地区	北地区
地区面積 (k m <sup>2</sup> )		0.95	2.41	3.45	1.04
人口 (人)	男	2,009	7,098	10,989	2,832
	女	2,215	7,315	11,304	2,963
	合計	4,224	14,413	22,293	5,795
世帯数 (世帯)	2,085	6,431	9,574	2,793	
人口密度 (人/k m <sup>2</sup> )	4,469.8	5,991.2	6,467.6	5,566.8	
		東地区	駅南地区	県居地区	佐鳴台地区
地区面積 (k m <sup>2</sup> )		1.60	1.26	0.82	1.42
人口 (人)	男	4,478	4,313	2,373	5,013
	女	4,787	4,221	2,591	5,272
	合計	9,265	8,534	4,964	10,285
世帯数 (世帯)	4,340	4,043	2,292	4,453	
人口密度 (人/k m <sup>2</sup> )	5,790.6	6,794.6	6,031.6	7,267.5	
		富塚地区	萩丘地区	曳馬地区	江東地区
地区面積 (k m <sup>2</sup> )		4.05	14.08	5.48	2.49
人口 (人)	男	7,890	33,889	18,239	8,481
	女	8,123	33,632	18,163	8,742
	合計	16,013	67,521	36,402	17,223
世帯数 (世帯)	6,448	28,590	15,290	7,257	
人口密度 (人/k m <sup>2</sup> )	3,954.6	4,795.5	6,638.7	6,916.3	
		江西地区	花川地区		
地区面積 (k m <sup>2</sup> )		2.81	2.39		
人口 (人)	男	6,623	888		
	女	6,528	805		
	合計	13,151	1,693		
世帯数 (世帯)	5,839	382			
人口密度 (人/k m <sup>2</sup> )	4,682.4	709.6			

(資料：浜松市統計書、住民基本台帳)

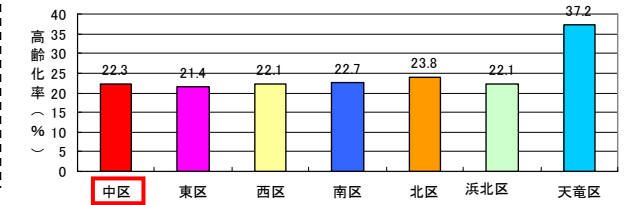


中区における地区別の人口・世帯数と人口密度

### ②高齢化率

- ・中区の高齢化率は約22.3%で、市平均値(24.5%)を下回っています。
- ・地区別では「中央地区」が最も高く約31%、「佐鳴台地区」、「曳馬地区」、「萩丘地区」は比較的低く21%以下となっています。

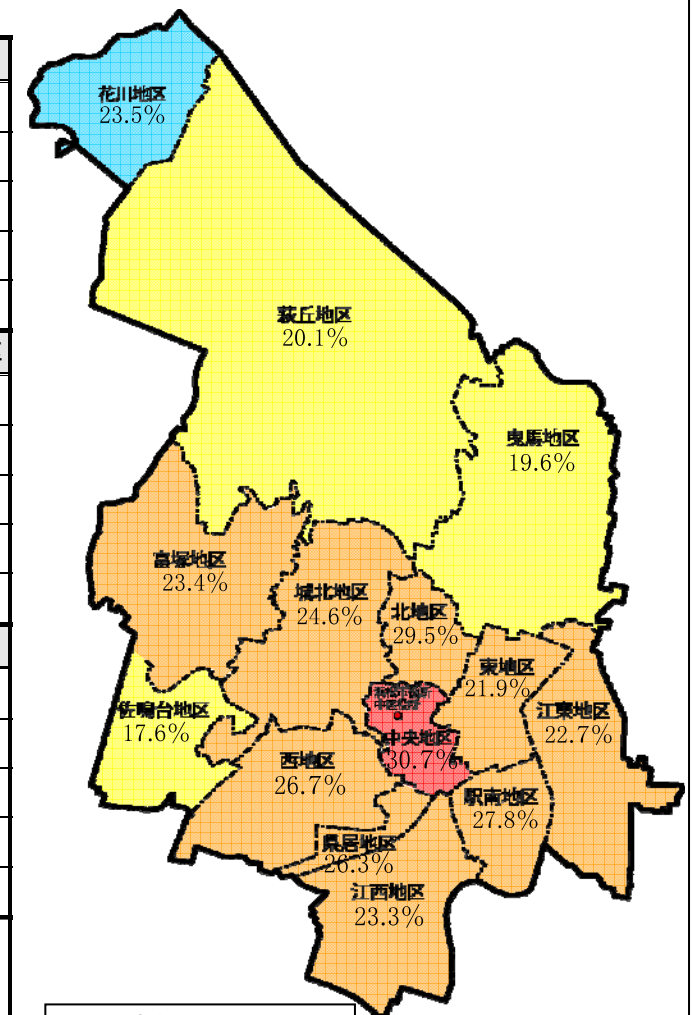
【高齢化率】



■中区における地区別の年齢別人口と高齢化率

		中央地区	西地区	城北地区	北地区
年齢別人口 (人)	15歳未満	393	1,615	3,071	580
	15~64歳	2,538	8,902	13,813	3,583
	65歳以上	1,296	3,845	5,487	1,707
	合計	4,227	14,362	22,371	5,870
高齢化率 (%)		30.7	26.7	24.6	29.5
		東地区	駅南地区	県居地区	佐鳴台地区
年齢別人口 (人)	15歳未満	1,151	834	540	1,501
	15~64歳	6,061	5,372	3,112	6,954
	65歳以上	2,030	2,372	1,307	1,807
	合計	9,242	8,578	4,959	10,262
高齢化率 (%)		21.9	27.8	26.3	17.6
		富塚地区	萩丘地区	曳馬地区	江東地区
年齢別人口 (人)	15歳未満	2,098	9,547	5,343	2,364
	15~64歳	10,033	44,842	23,936	10,976
	65歳以上	3,750	13,538	7,146	3,912
	合計	15,881	67,927	36,425	17,252
高齢化率 (%)		23.4	20.1	19.6	22.7
		江西地区	花川地区		
年齢別人口 (人)	15歳未満	1,588	188		
	15~64歳	8,478	1,106		
	65歳以上	3,069	398		
	合計	13,135	1,692		
高齢化率 (%)		23.3	23.5		

(資料：住民基本台帳 (平成23年10月1日))



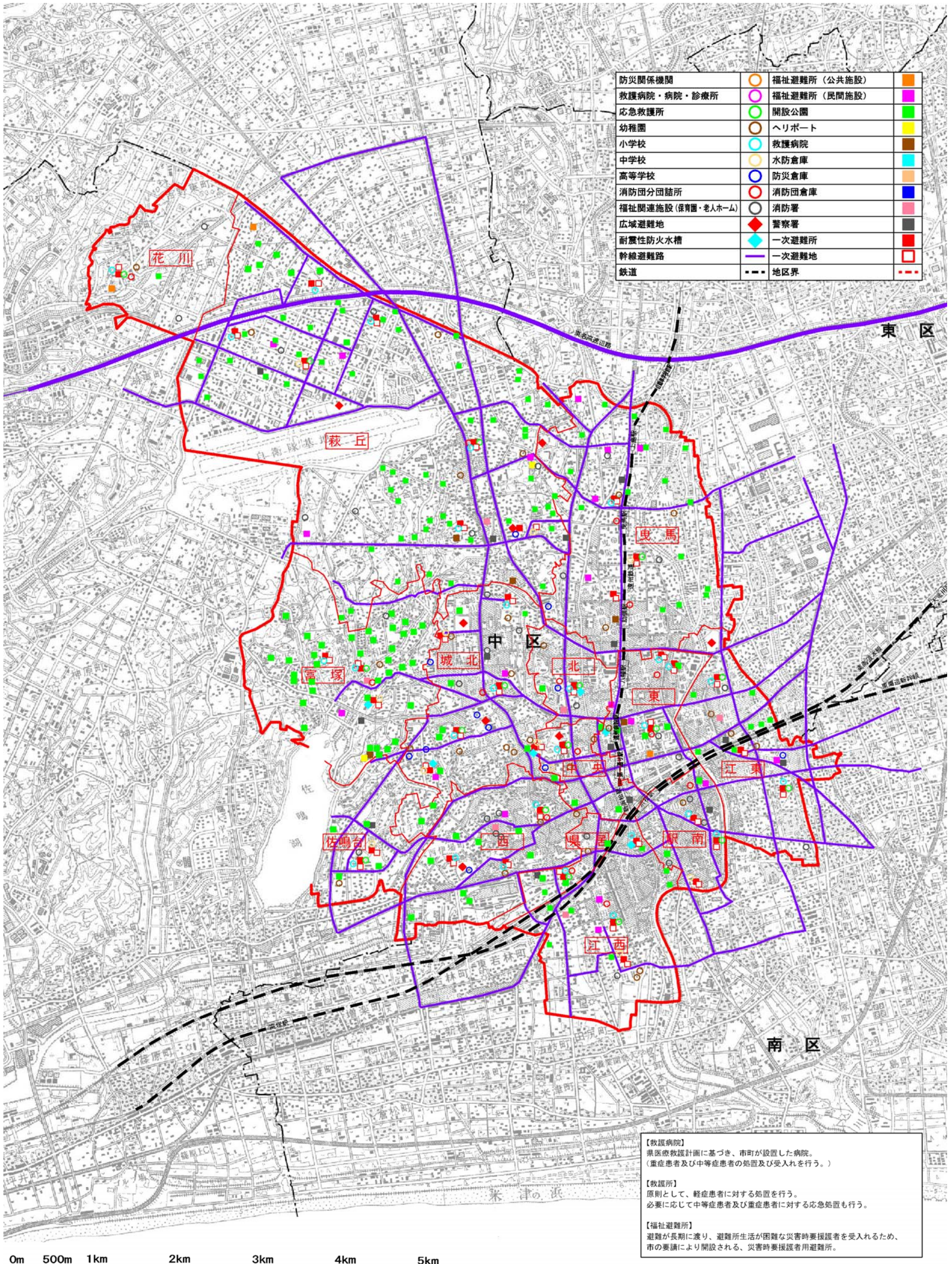
※一般的には高齢化率(総人口に占める65歳以上の人口の割合)によって以下のように分類される。

- ・高齢化社会 : 7~14%
- ・高齢社会 : 14~21%
- ・超高齢化社会 : 21%以上



## 2. 中区の社会環境 (その2)

### ③ 災害に関する施設配置





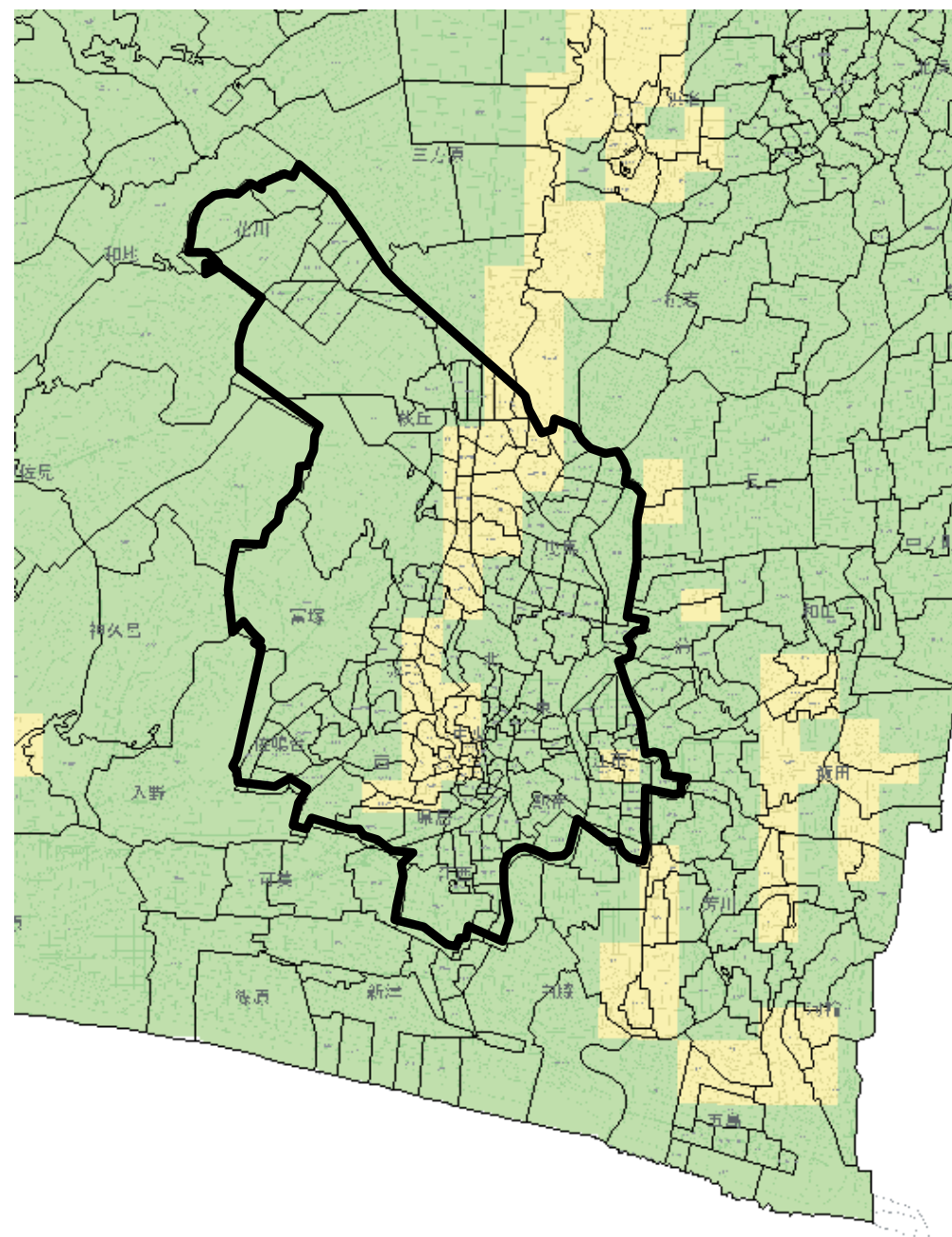
④自主防災隊

中央		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	自主防災隊名	利町	紺屋町	松城町	元城町	神明町	連尺町	肴町	田町	池町	尾張町	元目町
	世帯数	100	280	310	390	72	40	230	620	80	280	185
		12	13	14	15	16						
	自主防災隊名	北田町	鍛冶町	千歳町	伝馬町	大工町						
西	自主防災隊名	鴨江東町	鴨江西町	鴨江南町	鴨江北町	栄町	中山町	三組町	西伊場町	西伊場町西	南伊場町	
	世帯数	550	1230	460	1470	140	190	360	680	780	114	
城北		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	自主防災隊名	高町	鹿谷町亀山	広沢	蛭塚一区	蛭塚二区	蛭塚三区	名残	布橋南	布橋北	文丘町	追分
	世帯数	380	400	1755	254	230	1530	290	733	212	390	515
		12	13	14	15							
	自主防災隊名	東上池川	西上池川	和地山	山手町							
北	自主防災隊名	山下町	中沢町	元浜町	下池川町							
	世帯数	407	1,100	920	420							
東		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	自主防災隊名	野口町	八幡町	船越町	常盤町	早馬町	東田町	馬込町	松江町	新町	板屋町	
	世帯数	1,200	511	820	970	40	330	260	150	370	1,120	
駅南		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	自主防災隊名	砂山町第一	砂山町第二	砂山町第三	砂山町第四	砂山町第五	砂山町第六	寺島町	龍禅寺町	北寺島東町	北寺島西町	北寺島本町
	世帯数	132	260	150	170	220	170	1,030	1,500	340	175	240
		12										
	自主防災隊名	駅南団地										
	世帯数	180										
泉居		1	2	3	4	5	6	7	8			
	自主防災隊名	元魚町	旅籠町	平田町	塩町	成子町	菅原町東	西菅原町	東伊場			
	世帯数	350	85	85	220	300	155	226	1,300			
佐鳴台		1	2	3	4	5	6	7				
	自主防災隊名	佐鳴台一丁目	佐鳴台二丁目	佐鳴台三丁目	佐鳴台三丁目兼営住宅	佐鳴台四丁目	佐鳴台五丁目	佐鳴台六丁目				
	世帯数	700	750	800	900	973	560	310				
富塚		1	2	3	4	5	6					
	自主防災隊名	富塚町東	富塚町西	富塚町北	富塚町中	富塚町御前谷	西和					
	世帯数	1,737	1,430	1,461	1,599	159	1,365					
萩丘		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	自主防災隊名	住吉	幸	萩丘	葵東	葵西	小豆餅	高丘	泉	和合町	西丘町	一里山宿舎
	世帯数	3,075	2,746	2,250	1,050	3,800	1,480	6,790	2,240	3,733	200	45
曳馬		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	自主防災隊名	新津町	茄子町	助信町	高林	曳馬町三浦	曳馬町本郷	曳馬町宮	曳馬町金屋	曳馬町阿弥陀	細島町	十軒町
	世帯数	992	450	1,030	1,260	510	901	406	630	1,030	955	754
		12	13	14	15	16						
	自主防災隊名	早出町	上島町東	上島町西	上島町南	上島町北						
	世帯数	2609	1398	931	1050	1035						
江東		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	自主防災隊名	木戸町	相生町	佐藤西町	佐藤南町	佐藤中町	天神町	富吉	向宿	名塚町	領家町	中島町本町
	世帯数	300	350	670	375	925	392	150	1000	520	1030	1,200
		12	13									
	自主防災隊名	中島町諏訪	中島町市場									
	世帯数	380	390									
江西		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	自主防災隊名	海老塚	浅田町東	西浅田	南浅田	上浅田一丁目	上浅田二丁目	森田町	春日町	神田町	南栄	
	世帯数	1,700	370	740	605	430	310	285	180	1,583	245	
花川		1	2	3								
	自主防災隊名	花川一部	花川二部	花川三部								
	世帯数	157	67	75								

⑤地震被害想定（静岡県第3次地震被害想定（平成13年5月）より）

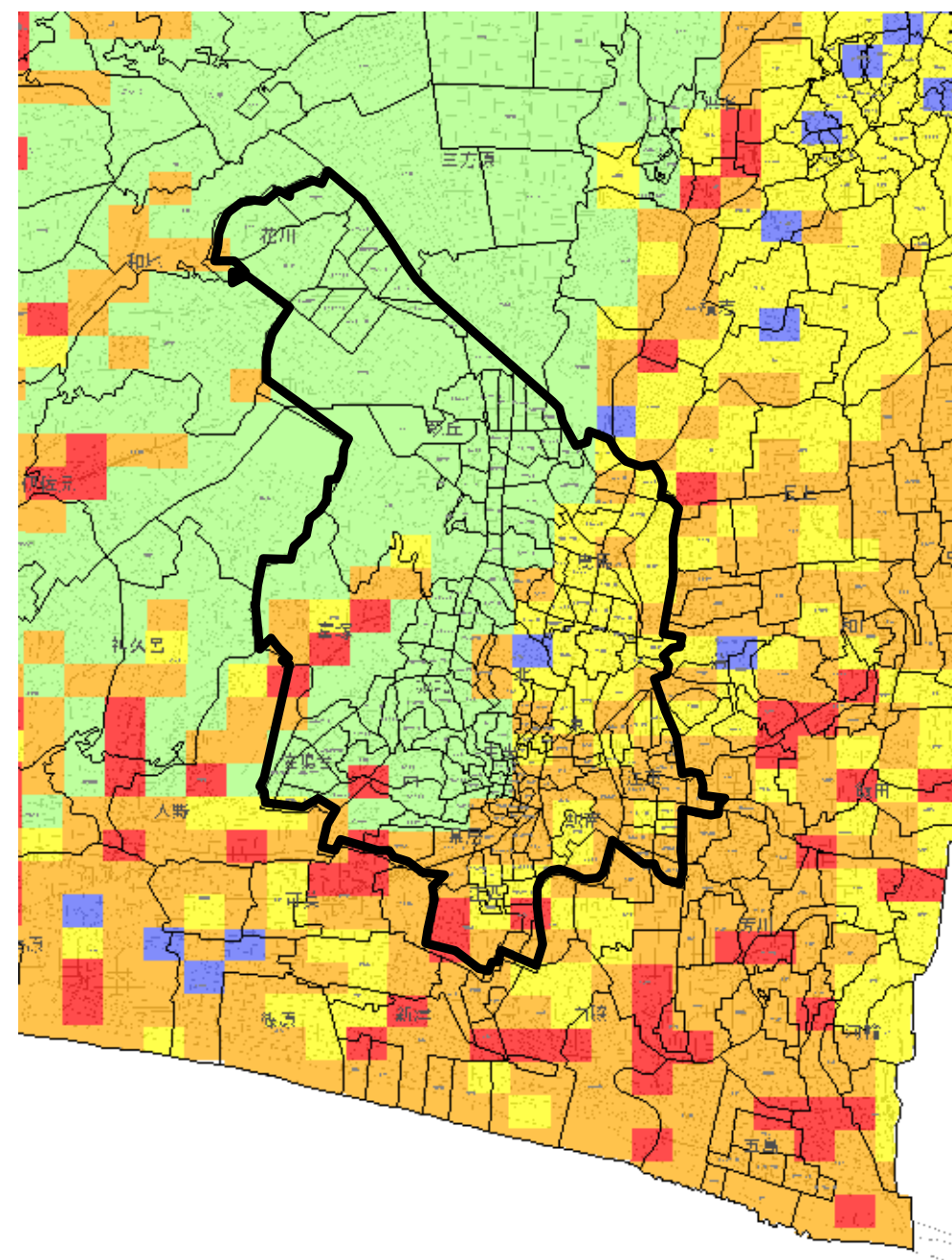
【推定震度分布】

- ・静岡県第3次地震被害想定における、東海地震による推定震度分布は下図のとおりです。
- ・中区は、震度6強～震度6弱の推定となっています。



【推定液状化危険度】

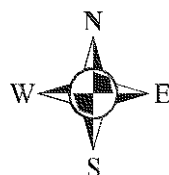
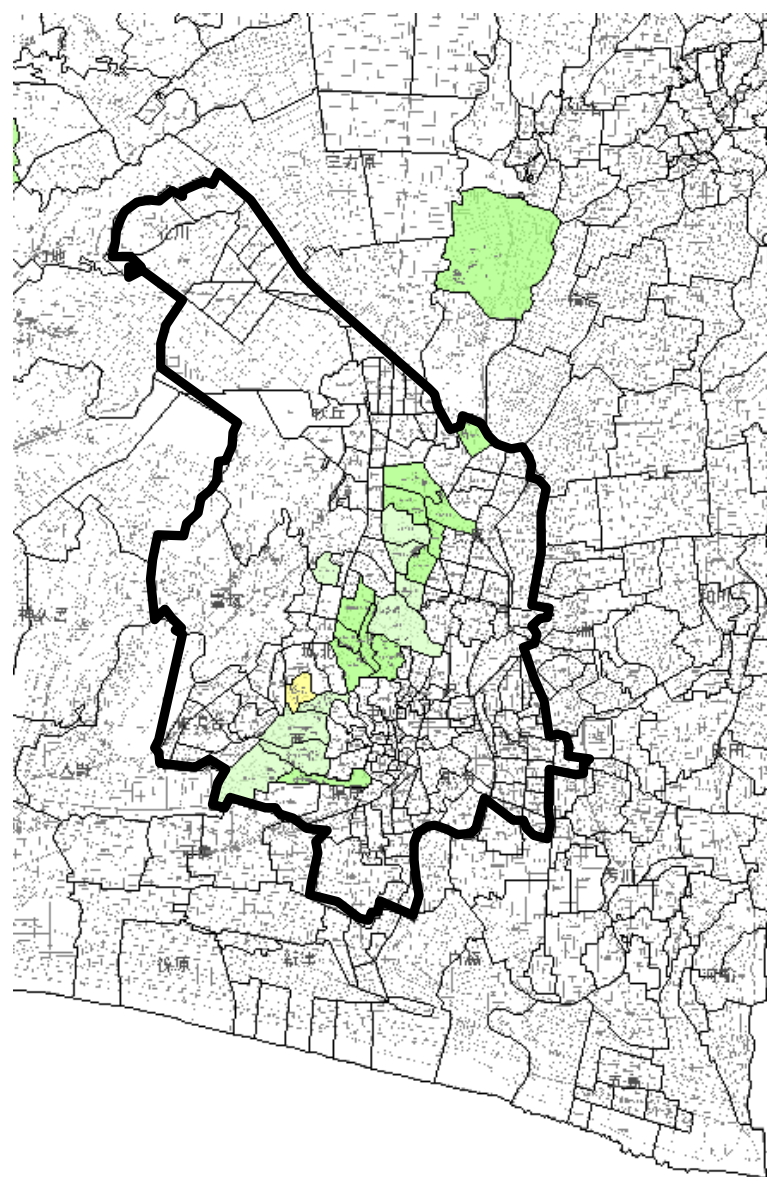
- ・静岡県第3次地震被害想定における、東海地震による推定液状化危険度は下図のとおりです。
- ・中区は、南西部の一部に「大」があるほか、南西部は「中」または「小」となっています。





**【山・崖崩れによる建物被害想定】**

- ・静岡県第3次地震被害想定における、東海地震による山・崖崩れによる建物被害想定は下図のとおりです。
- ・中区は、一部に被害率1～10%未満の箇所があります。

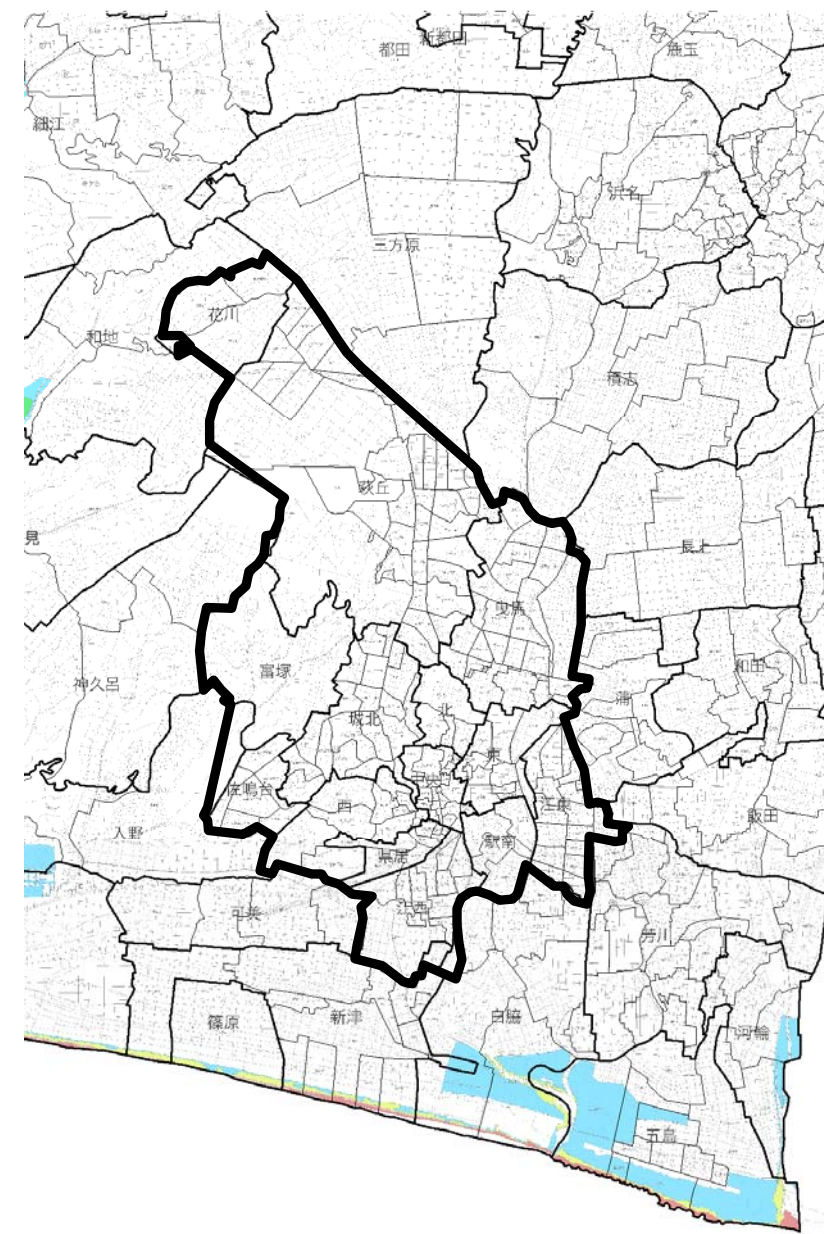


**凡例**

- 山・崖崩れ被害対象外
- 被害率が1%未満
- 被害率が1%以上5%未満
- 被害率が5%以上10%未満
- 被害率が10%以上20%未満
- 大規模崩壊危険箇所危険度極大(ランクI)
- 大規模崩壊危険箇所危険度大(ランクII)
- 大規模崩壊危険箇所危険度中(ランクIII)
- 大規模崩壊危険箇所危険度小(ランクIV)
- 地すべり危険箇所
- 急傾斜地崩壊危険箇所

**【推定津波浸水域】**

- ・静岡県第3次地震被害想定における、東海地震による推定津波浸水域は下図のとおりです。
- ・中区は、本想定では浸水域外となっています。



第三次被害想定  
～推定津波浸水域図～

**凡例**

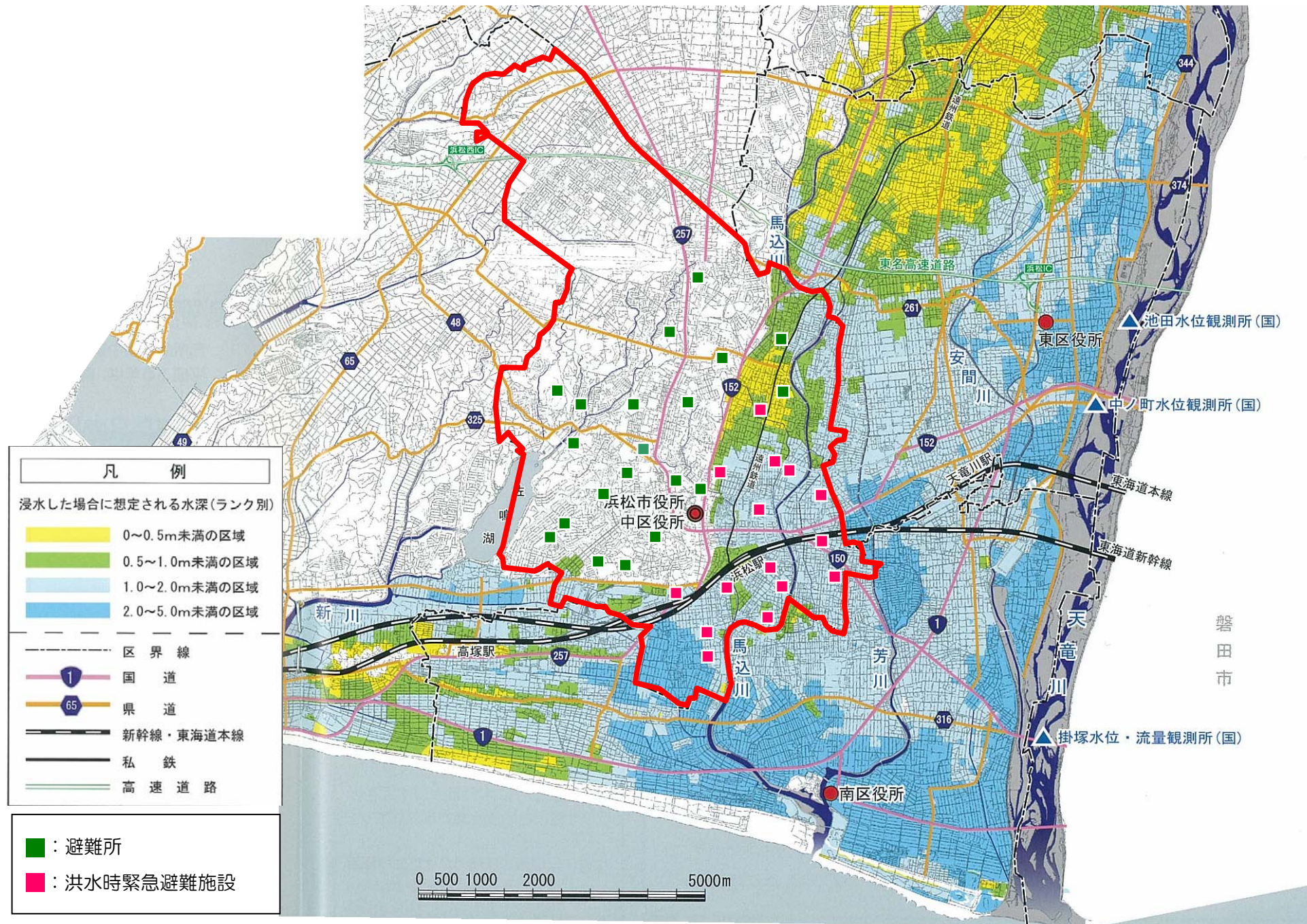
- 推定津波浸水域
- 浸水深2 m以上
  - 浸水深1m～2m
  - 浸水深0.5m～1m
  - 浸水深0m～0.5m
  - 水門等開放時の浸水域
  - 安政東海地震推定浸水域



⑥洪水ハザードマップ

【天竜川の浸水想定区域】

- ・天竜川流域でおおよそ150年に1度程度の大雨（流域全体の2日間の総雨量が318mm）による氾濫を想定した場合の浸水範囲と水深は、以下のようになっています。
- ・国道152号東及びJR線南が浸水想定区域となっています。特にJR線南側は2.0~5.0m未満の箇所があります。
- ・「避難所」として20箇所、緊急時に2階以上のみ避難所として利用できる「洪水時緊急避難施設」として15箇所の小中学校が指定されています。



■避難所一覧

	名称	所在地
中区	元城小学校	元城町102-1
	中部中学校	松城町108-1
	西小学校	鶴江町70-1
	西部中学校	鶴江二丁目17-1
	鶴江小学校	西伊場町4-1
	追分小学校	布橋一丁目9-1
	広沢小学校	広沢二丁目51-1
	北部中学校	文丘町28-1
	舘塚中学校	舘塚二丁目15-1
	城北小学校	住吉一丁目23-1
	高台中学校	住吉五丁目19-1
	泉小学校	泉一丁目16-1
	秋丘小学校	幸五丁目12-1
	上島小学校	上島一丁目21-1
	曳馬中学校	曳馬四丁目2-15
	富塚小学校	富塚町1803
	富塚西小学校	富塚町3541
	富塚中学校	富塚町460-1
	佐鳴台小学校	佐鳴台三丁目31-1
	佐鳴台中学校	佐鳴台三丁目32-1

・浸水しない場所、あるいは浸水しても浅い（水深0.5m未満）場所□にある小中学校等が「避難所」として指定されています。

■洪水時緊急避難施設

	名称	浸水時に利用できる階
中区	東小学校	2 3
	八幡中学校	2 3
	船越小学校	2 3
	泉居小学校	2 3
	高砂小学校	2 3 4
	竜禊寺小学校	2 3 4
	南部中学校	2 3 4
	南小学校	2 3 4
	浅間小学校	2 3
	江西中学校	3
	北小学校	2 3
	相生小学校	2 3 4
	佐藤小学校	2 3 4
	東部公民館	2 3
	曳馬小学校	2 3

・天竜川の氾濫の恐れがある場合、0.5m以上の浸水が予想される小中学校等は避難所として使用できません。

・「洪水時緊急避難施設」は、天竜川が氾濫した時は浸水位が深い場所に立地しているため施設の低い階は使用できず、「避難が遅れた人が緊急的に利用する施設」として指定されています。



**【安間川・馬込川・新川の浸水想定区域】**

- ・安間川、馬込川、新川の3河川が大雨（安間川：63.1mm/h、馬込川：72.5mm/h、新川：65.8mm/h）による氾濫を想定した場合の浸水範囲と水深は、以下のようになっています。
- ・中区においては、馬込川の周辺において、1.0m未満の浸水が想定されています。



**避難所一覧**

	名称	所在地
中区	上島小学校	上島一丁目21-1
	曳馬中学校	曳馬四丁目2-15
	佐藤小学校	佐藤二丁目32-1
	東部公民館	相生町23-1
	相生小学校	向宿三丁目8-1
	高砂小学校	寺島町450
	南小学校	海老塚二丁目5-1
	浅間小学校	西浅田二丁目12-1
	江西中学校	神田町123
	富塚中学校	富塚町460-1
	蛸塚中学校	蛸塚二丁目15-1
	鴨江小学校	西伊場町4-1
	佐鳴台小学校	佐鳴台三丁目31-1
	佐鳴台中学校	佐鳴台三丁目32-1

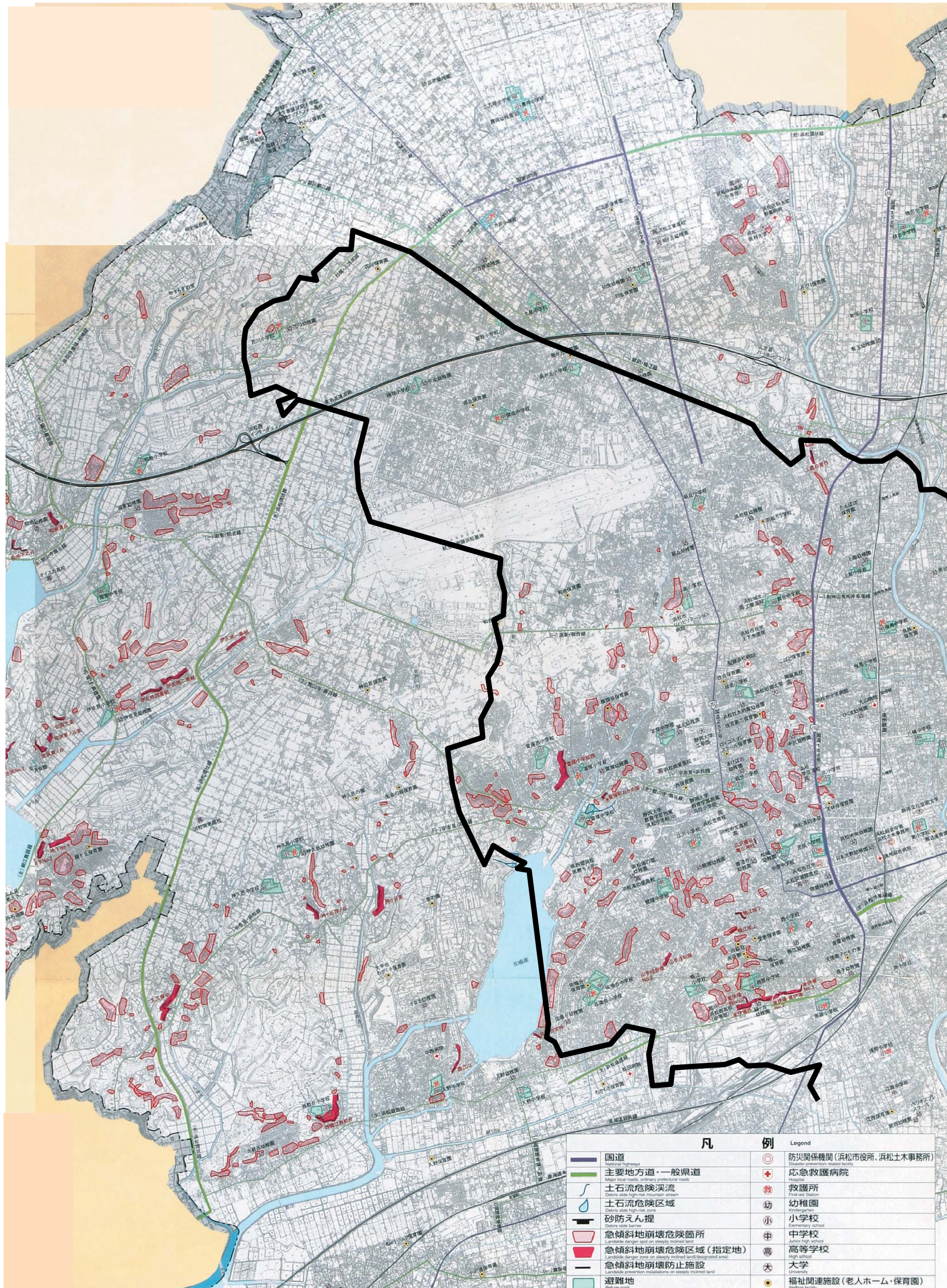
・浸水しない場所、あるいは浸水しても浅い（水深 0.5m未満）場所□にある小中学校等が「避難所」として指定されています。

凡 例	
浸水した場合に想定される水深（ランク別）	
	0～0.5m未満の区域
	0.5～1.0m未満の区域
	1.0～2.0m未満の区域
	2.0～5.0m未満の区域
	区 界 線
	国 道
	県 道
	新幹線・東海道本線
	私 鉄
	高 速 道 路



### ⑥土砂災害ハザードマップ（平成17年度現在）

- ・中区においては、急傾斜地崩落危険箇所、急傾斜地崩落危険区域（指定地）が下図のように定められています。
- ・なお、平成17年度以降に新たに指定された箇所も存在します。





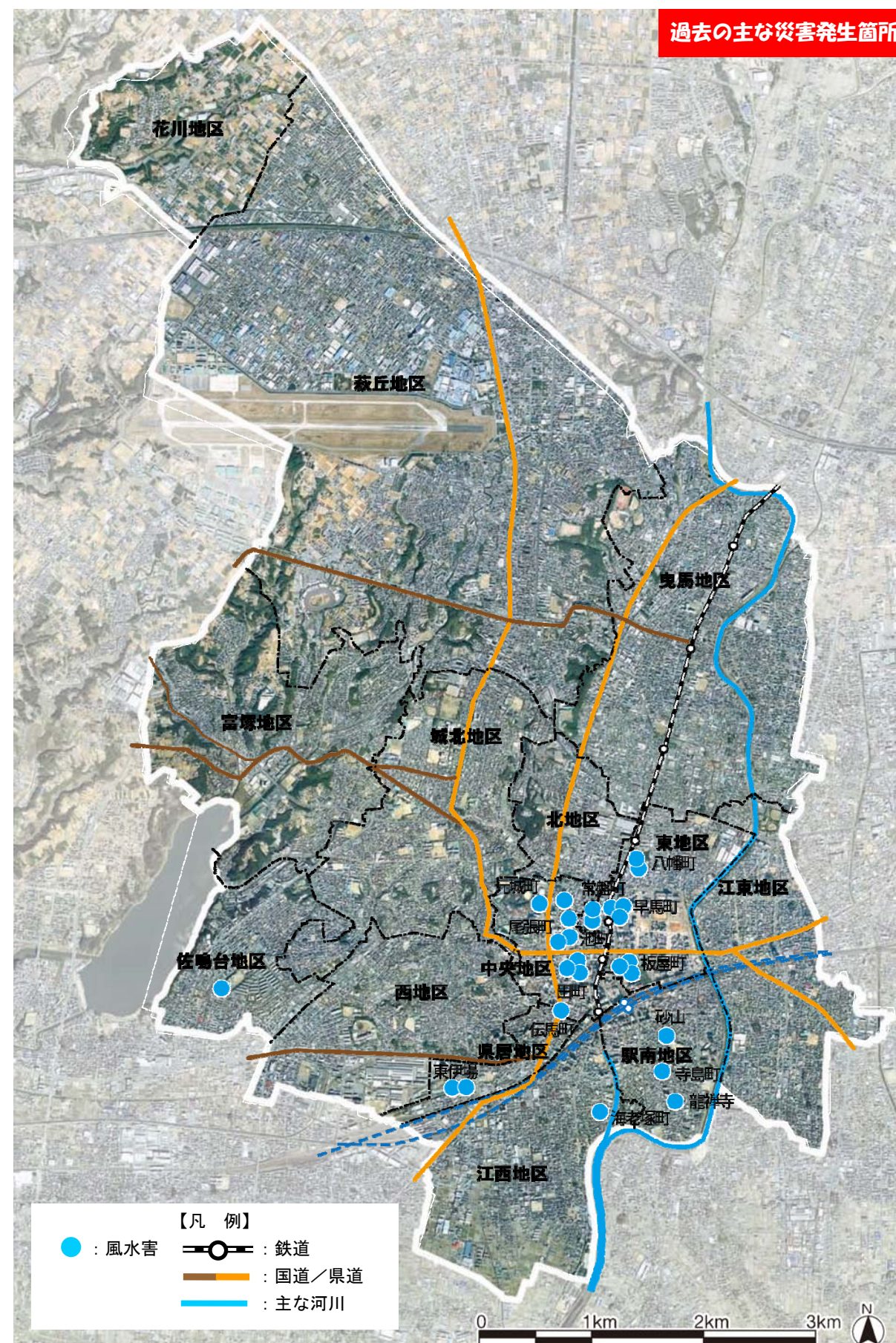
### 3. 中区における過去の災害履歴

- ・城下町や宿場町として発展してきた本区においては、地震による家屋倒壊等の被害の他、明治時代までは台風等に伴う馬込川や新川の氾濫による浸水被害が発生してきました。
- ・その後、大正時代以降の河川改修によりこれら災害は減少しています。

■中区における既往災害履歴

西暦	和暦	災害	被害概要	地震	風水害	津波・高潮	土砂災害
1498	明応7	明応地震 (推定 M=8.0~8.4)	・浜名湖南部では30ha余が海なり、溺死者1万人余と推定	○			
1499	明応8	大風	・遠江国河勾荘(浜松市)で800人が溺死		○		
1604	慶長9	慶長地震 (推定 M=7.9)	・津波地震により大きな津波の励起されたため、大規模な被害を生じたものと推測(舞阪(西区)では船が山際まで打ち上げられ20艘あまりの釣り船が行方不明)	○			
1681	天和1	風雨	・浜松で浜松城破損		○		
1697	元禄10	風雨 馬込川堤決壊	・浜松宿で大風雨 ・田町(中央地区)、板屋町(東地区)浸水		○		
1707	宝永4	宝永地震(推定 M=8.4~8.7)	・浜松で潰家71戸、半潰家29戸、大破損家52戸 ・地盤沈下、地割れ発生	○			
1757	宝暦7	天竜川洪水	・浜松前通より川東前野村まで田畑荒		○		
1837	天保8	暴風雨	・浜松宿内で暴風雨		○		
1854	安政1	安政東海地震 (推定 M=8.4)	・津波が天竜川を遡り河口から3km上流で4.5mに達したとされる	○			
1878	明治11	洪水	・遠州掛川から袋井間、早馬町(東地区)で浸水		○		
1897	明治30	新川等出水	・田町、常盤町(中央地区)、板屋町、早馬町(東地区)、池町で浸水		○		
1898	明治31	新川出水	・田町、常盤町、下垂(現尾張町)、池町(中央地区)、板屋町、早馬町(東地区)で浸水 ・東海道も浸水		○		
1910	明治43	台風により馬込川・新川が出水	・浜松市内床上浸水1339棟 ・馬込町、新町、板屋町、早馬町(東地区)、田町、下垂町(現尾張町)、常盤町、元目町、池町(中央地区)、八幡地、後道、浜松八幡地で浸水		○		
1911	明治44	新川・馬込川氾濫	・馬込町、新町、板屋町、早馬町、八幡地(東地区)、田町、下垂町(現尾張町)、常盤町、元目町、池町、元城町、伝馬町(中央地区)、龍禅寺町、寺島町(駅南地区)、海老塚町(江西地区)		○		
1921	大正10	台風(浜松市付近に上陸)	・浜松市で800棟浸水		○		
1926	大正15	暴風雨	・浜松地方で死者8人、全壊85棟、半壊110棟、床下浸水52棟		○		
1927	昭和2	大雨	・浜松で浸水約50棟		○		
1932	昭和7	台風	・浜松市で700棟余浸水 ・浜松市内で床下浸水200棟 ・東海道天竜橋が流失		○		
1935	昭和10	大雨 馬込川・新川出水	・浜松地方で出水、床上浸水148棟、床下浸水4596棟 ・砂山(駅南地区)、東伊場(県居地区)など5000棟余浸水		○		
1944	昭和19	東南海地震 (推定 M=7.9、震度5~6) 台風	・中央地区:全壊198戸、半壊406戸／曳馬地区:半壊10戸、富塚地区:全壊7戸、半壊18戸 ・浜松市で床上浸水20棟、床下浸水1275棟	○	○		
1964	昭和39	大雨	・浜松市で床下浸水1880棟		○		
1971	昭和46	台風23号	・浜松市で床上浸水550棟、床下浸水2047棟		○		
1974	昭和49	七夕豪雨	・浜松中央署管轄内で全壊2棟、床上浸水147棟、床下浸水1013戸、山崩れ27箇所		○		○
1982	昭和57	集中豪雨	・浜松で床上浸水130棟、床下浸水4606棟		○		
1994	平成6	大雨	・浜松市内で床上浸水33棟、床下浸水444棟の被害		○		
2004	平成16	大雨	・床上浸水11棟(東伊場)、床下浸水240棟(船越町、野口町、春日町、神田町、上浅田町、上島、佐鳴台、東伊場)、道路冠水		○		
2011	平成23	台風	・馬込川、安間川、芳川流域周辺において避難勧告発令(曳馬、駅南、江西、江東地区)		○		

(資料:静岡県史、浜松市史、静岡県地震防災センターホームページ)

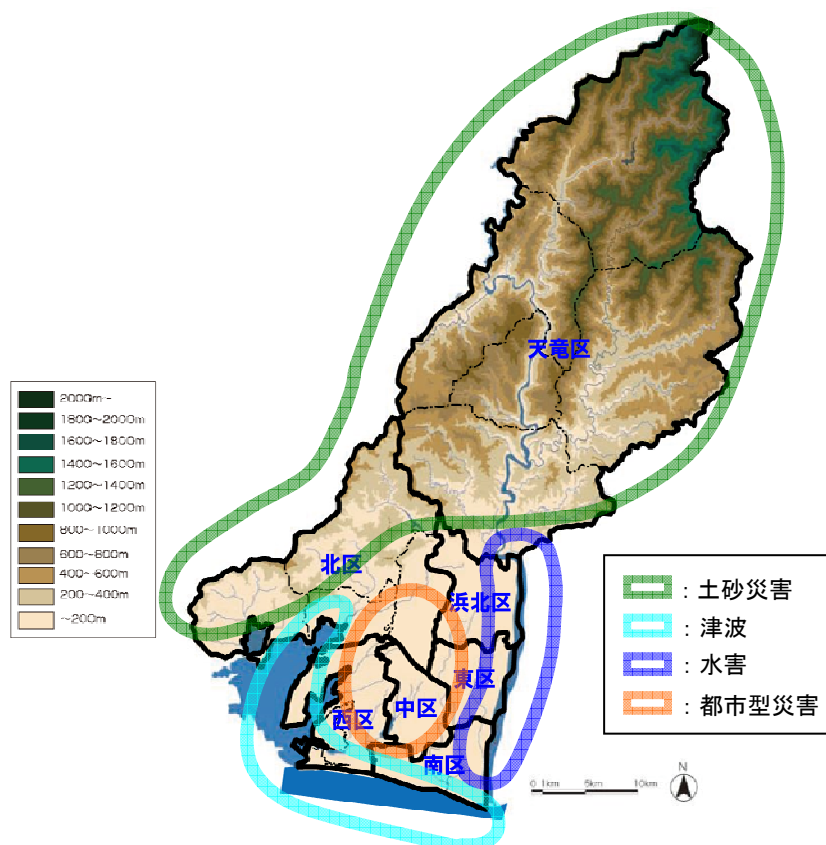




## ■中区の災害特性

### ■浜松市の災害特性と区版避難行動計画策定の進め方

- ・浜松市の災害特性は、地形や市街地の形成過程などから、大きくは下図に示すように、「土砂災害」「津波」「水害」「都市型災害」の4つに分類されます。
- ・区版避難行動計画の策定にあたっては、主に区の特徴的な災害について議論しながら進めます。



#### 【自然条件】

- ・区の東側は砂礫層から成る三方原大地、西側と南側は砂礫層、泥層、砂層からなる天竜川沖積地や海岸平野となっています。

#### 【災害の履歴】

- ・地震による被害のほか、馬込川や新川の氾濫による大雨による浸水被害が多く見られます。

#### 【ハザードマップ・地震被害推定】

- ・静岡県第3次被害想定では、地震の揺れ以外に液状化などによる被害も推定されています。
- ・天竜川や馬込川の氾濫を想定した浸水区域が定められています。
- ・急傾斜地崩落危険箇所、急傾斜地崩落危険区域（指定地）が多く指定されています。

### ■各区の災害特性一覧

区	地震	水害	津波	土砂災害
中区	◎	○		○
東区	○	◎		
西区	○	○	◎	○
南区	○	○	◎	
北区	○	○	○	◎
浜北区	○	◎		○
天竜区	○	○		◎